

# 業況観測アンケート（2023年度 第4四半期）調査結果

（前年同期比）

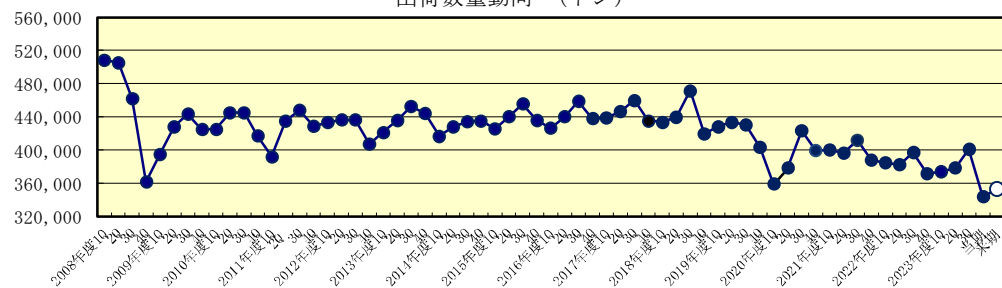
集計企業数 33社

2024/4/17

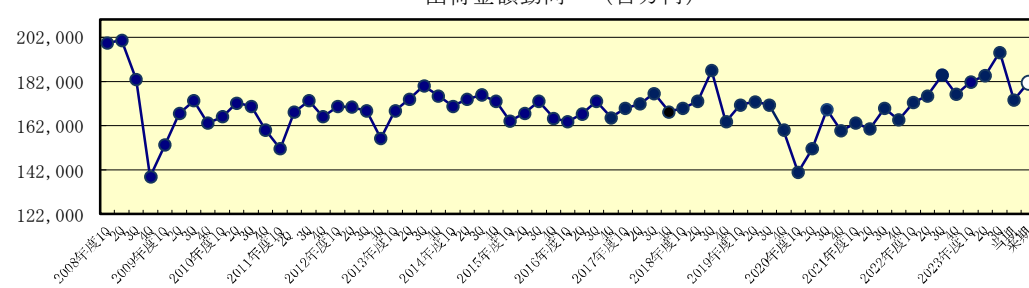
（アンケート値指数換算）

	出荷数量 動向			出荷金額 動向			製品在庫 (期末)			製品価格 動向		
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期
+50%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
+45%~+50%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+40%~+45%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+35%~+40%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+30%~+35%未満	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
+25%~+30%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0
+20%~+25%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.2
+15%~+20%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
+10%~+15%未満	0.0	0.0	0.2	10.1	1.3	0.4	0.0	2.7	1.6	2.1	1.1	1.3
+5%~+10%未満	1.0	0.2	0.2	13.5	1.4	1.1	0.9	7.9	0.4	14.0	6.4	5.8
+5%未満	19.2	0.9	2.9	3.8	12.6	15.4	14.4	3.3	10.2	4.8	12.0	14.0
±0%	1.2	1.8	3.7	0.9	2.7	2.7	3.0	4.6	6.7	11.1	12.0	11.4
-5%未満	8.2	3.8	3.4	4.0	4.1	9.5	14.0	10.4	11.2	0.7	1.0	0.1
-5%~-10%未満	3.3	21.0	18.7	0.7	8.6	3.7	0.0	1.7	0.5	0.0	0.3	0.2
-10%~-15%未満	0.0	3.1	3.9	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-15%~-20%未満	0.0	2.1	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
-20%超	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

出荷数量動向（トン）



出荷金額動向（百万円）



# 業種別動向観測アンケート（2023年度第4四半期）調査結果

2024/4/17

( 前年 同 期 金 額 比 )

集計企業数 31社

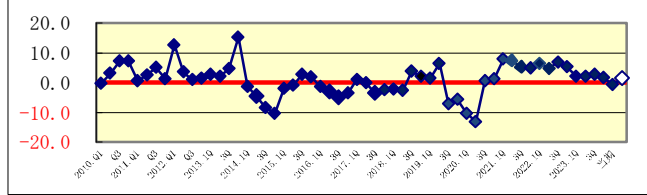
当期(1~3月)実績

建 築	建築資材	道路車両		船舶・構造物	機械・電気 機械・金属	木工製品	家庭用	トラフィック ペイント
		新 車	補 修					
-0.7	-10.7	-7.0	0.3	4.6	-0.5	-7.4	-0.6	0.1

## メーカーのコメント例

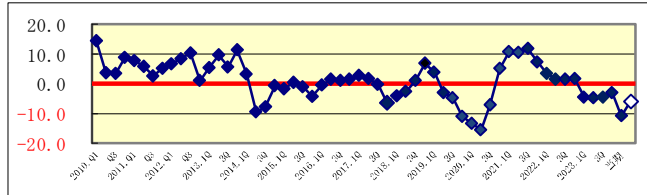
### 建築・外装

・経済活動の正常化や販売価格への転嫁、賃上げによる個人消費の持ち直しなど期待されていたが、実態としては建築価格の高騰も長期化しているなかで、閑散期ということもあり低調であった。



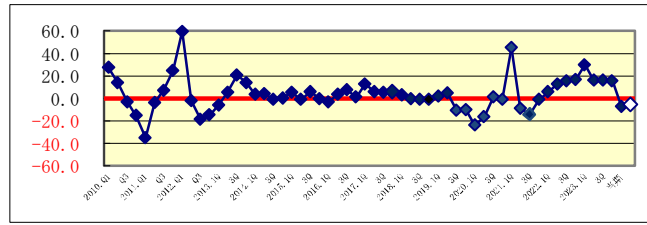
### 建築資材

・住宅着工数の減少の影響も大きく、アルミサッシ、コイルコート中心に全般的に低調傾向が続いた。建材メーカーの生産量減も響き大きく大幅減となった。



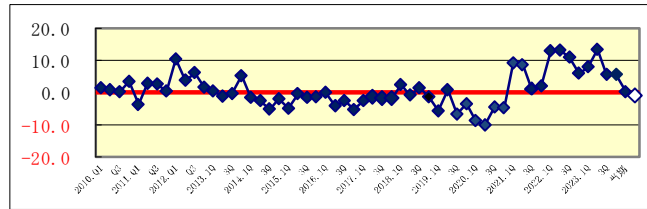
### 新車

・半導体不足が改善した一方で、メーカーでの不祥事による生産ラインストップが頻発した上、能登半島地震による各社の部品供給難もあり、生産台数が大きく落ち込んだ。今後の見通しも不透明で判断を許さない状況である。



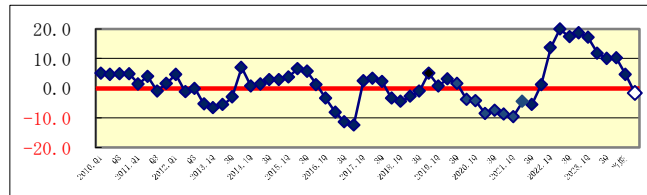
### 補修

・需要の一定回復が見られつつあり、全体的には堅調に推移したと見られるが、地域による斑感も有り、ほぼ現状維持となった。



### 船舶・構造物

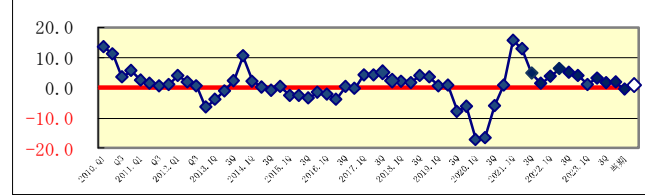
・船舶は新造、補修共に安定した状態が継続した。特に新造船は製品価格アップを反映して粗利額も増加した。  
・構造物は新設物件の獲得減で厳しい面もあるが、塗替え物件の受注が堅調で前年並みであった。



## メーカーのコメント例

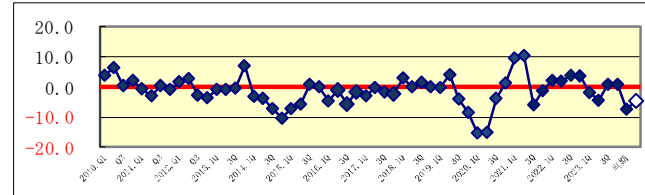
### 機械・電気機械・金属製品

・電気機械関係は堅調に推移する見込みで金融機器系などは新札対応による需要増もみられた。工作機械は低迷しが続き、住宅関連市場も低調に推移したため、微減となった。



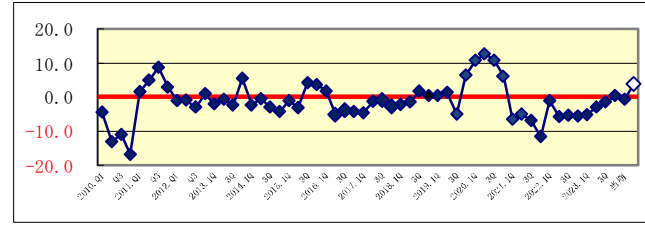
### 木工製品

・コロナ禍の在宅特需は終息し、原材料費高騰を十分に価格転嫁に結び付けられないところも多く、厳しい状況は続く。国内、輸出ともにマイナスで推移した。



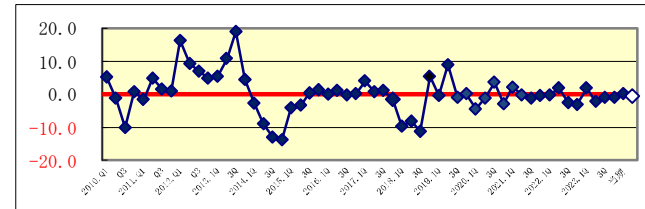
### 家庭用

・原料価格の高騰に伴う物価の上昇等により、節約志向が継続していると見られた。ホームセンターの客数は戻りつつあるも、DIY市場そのものはほぼ横ばいで推移し、全体では微減。



### トラフィックペイント

・公共工事は前年並みに推移したが全般の工事件数は減少の傾向が続き、しばらく同水準で推移する見込みである。



◆ 業種別動向観測アンケート（四半期）の回答の「前期」・「当期」データを月次の解析方法に従って計算した。

◇ 「来期予測」回答データを同様に計算した。

### 全体

・自動車、工業用塗料の出荷が低調に推移した。特に牽引役であった自動車の落ち込みが大きく影響し、数量・金額とも減少した。原料コストの価格転嫁が不十分で、中国経済の低迷も一部産業の減速に顕著に影響した。

業種別動向観測アンケート（2023年度第4四半期）調査結果

2024/4/17

（前年同期比）

集計企業数 31社

（アンケート値）

集計企業数	建築・外装			建築資材			道路車両						船舶・構造物			機械・電気機械 ・金属製品			木工製品			家庭用			トラフィック ペイント					
	前期	当期	来期	前期	当期	来期	新車			補修			前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期	前期	当期	来期			
							前期	当期	来期	前期	当期	来期																		
+50%超	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+45%～+50%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+40%～+45%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+35%～+40%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+30%～+35%未満	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+25%～+30%未満	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+20%～+25%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+15%～+20%未満	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+10%～+15%未満	1	0	1	1	0	0	3	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
+5%～+10%未満	2	1	1	0	0	2	1	2	3	3	0	0	2	1	1	4	0	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0			
+5%未満	2	4	6	1	2	1	1	1	2	2	2	2	1	2	3	5	4	6	1	1	2	3	1	3	1	1	2			
±0%	3	2	3	0	1	2	1	1	1	0	1	0	0	1	0	2	2	5	1	0	1	0	1	1	1	1	1			
-5%未満	5	4	6	0	1	2	0	2	1	0	2	2	2	1	2	5	6	5	3	3	1	1	1	0	0	1	0			
-5%～-10%未満	3	3	2	5	1	1	1	0	1	0	0	1	1	1	1	1	4	1	0	1	3	1	0	0	1	0	1			
-10%～-15%未満	2	1	1	1	1	0	0	2	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0			
-15%～-20%未満	0	2	0	1	3	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0			
-20%超	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			